



年間宿泊観光客数四百万人構想について 観光力向上1（平成24年11月一般質問）

「我がまちスポーツ」の推進について

本県の観光力を向上させるためには、様々な機会を通じて、交流人口の拡大を図っていくことが重要ですが、スポーツも、そのような機会づくりにつながります。

昨年度の山口国体においては、例えば周南市では、ハンドボール競技など6つの競技が開催されましたが、県内各地で、競技の開催に合わせた様々なおもてなしが行われ、交流の輪が大きく広がったところです。

ハンドボール競技では、少年女子が優勝、少年男子が準優勝するなど素晴らしい成績を勝ち取ることができ、これを契機に市では、国体の際に周南市で開催されたハンドボールや軟式野球などの競技を、「我がまちスポーツ」として取り上げ、スポーツの振興と地域の活性化を進めようとしておられます。

昨年度制定された山口県スポーツ推進条例では、スポーツを通じた地域の活性化ということを謳っておられます。

山口国体の成果をさらに発展させ、「我がまちスポーツ」の取り組みが広がり、全国規模のスポーツ大会の誘致等が進めば、交流人口の拡大にも貢献することと思いますが、現在、どのような状況なのか、また、今後の取組についてお伺いします。

【藤井哲男 総合政策部長】

県では、山口国体を契機として高まった、スポーツへの関心や充実したスポーツ施設等を活用して市町が行う「我がまちスポーツ」の取組を、今年度から新たに支援しているところ
です。

「我がまちスポーツ」の状況については、現在、16市町において延べ37競技で取組が
進められています。

具体的には、武道館やクライミングウォール、自転車競技施設やヨットハーバーなど、市
町における特色ある施設を活用した大会が新たに開催されるとともに、トップアスリートに
よるスポーツ教室等の魅力的なイベントが県内各地で展開されており、全国規模の競技会の
誘致も進められております。

また、温泉等を活用したスポーツ合宿の積極的な誘致や、高齢者や地域の特産品を活用し
たユニークな取組など、観光との連携や地域資源を活用した新たな動きも生まれてきており
ます。

県としては、スポーツによる特色あるまちづくりを更に充実・発展させていくため、今後、
市町に対して積極的に取組事例等の情報提供を行うとともに、観光をはじめとする関係部局
と連携しながら、交流人口の拡大に繋がるような取組を支援し、市町における「我がまちス
ポーツ」の定着を一層促進してまいります。

質問内容及び答弁の全文はこちら